

# 地域スポーツフェスタ 報告

10月14日(日)に、山口市連絡協議会と下関市連絡協議会がそれぞれ地域スポーツフェスタを実施しました。

## \*山口市連絡協議会\*

午前 第3回グラウンド・ゴルフ グリーンカップ大会 in ゆめ花博

午後 チャレンジ!スポーツゆめ体験

場所 山口きらら博記念公園 多目的広場

午前中のグラウンドゴルフ大会は、一昨年から実施している交流イベントを山口市内のクラブだけでなく、県内のクラブにも声をかけ、拡大して開催しました。市外4クラブから申込があり、約100名が参加しました。この大会は交流を一番の



目的としているので、一緒に回る組のメンバーは、地域ごとにかたまらないように編成されていました。初めは、緊張や遠慮がちな様子でしたが、競技を開催するとすぐに打ち解けて楽しくプレーしている姿が印象的でした。

午後は、アーチェリーやビームライフル、スポーツ吹き矢、タンDEM自転車など9種目の体験ブースを用意し、スタンプラリー形式で、いろいろな種目を体験していただきました。約200名が参加し、あまり体験することのない種目にふれ、とても楽しんでいる様子でした。



## \*下関市連絡協議会\*

スポーツカーニバル2018

場所 下関運動公園

この度は、昨年度に続きスポーツカーニバルとして、総合型クラブ・下関市レクリエーション協会・下関市障害者スポーツセンターの3団体の共同で



開催しました。内容は、サッカースクール・気功体験教室・マジック体験・レク式体カチェック・スポーツ体験ラリーを実施しました。サッカースクールにはレノファ山口FCアカデミーコーチ4名、気功教室にはコミュニティ東垂でも指導されている山守氏を講師に招き、楽しくかつ充実した内容で参加者はとても満足されていました。スポーツラリーでは、スナッグゴルフやゲートボールビンゴ、ユニカールやボッチャなどのいろいろなニュースポーツや障害者スポーツが用意され、多くの方が体験して



いました。レク式体カチェックでは、タオル絞りで握力や腕・体感の筋力、ストローで呼吸や肺機能のチェックなどをし、楽しく行っていました。

イベントには、家族で参加している方が多く、親子で教えあったり、協力しあったり、たくさんの笑顔が見られました。

わくわく(輪く和く)通信

山口県生涯スポーツ推進センターだより

スポーツくじ  
toto BIG

Vol.24

2018年

10月

## 研修会情報

創設・育成研修会(兼:スロージョギング  
アドバンス養成講習会)

スロージョギングの指導者の資格を取得  
できる講習会です。

期日:平成31年2月1日(金)

場所:カリエンテ山口(山口市)



# 女性スポーツ指導者・リーダーの会

7月7日(土)、周南総合スポーツセンターで、第3回目となる女性スポーツ指導者・リーダーの会(以下、女性の会)研修会「スポーツの絆 WOMAN 和ークル」が開催されました。昨年度の6月に発足した女性の会では、キッズ・ジュニア期のスポーツにかかわる女子を増やしたいとの思いから、女性指導者の必要性や拡大を考えてきました。この日、順天堂大学女性スポーツ研究センターから、野口亜弥先生をお招きして、「なぜ女性スポーツを学ぶのか?」という演題で講演していただきました。



野口先生は、学業の傍ら、子どもの頃から続けていたサッカーを大学でプレイし、その後、女子セミプロチームや、スウェーデンの女子プロチームでも活躍した後、ボランティアでザンビアに赴き、国際協力も経験されるなど、とても行動的な女性研究者です。野口先生から、特に、女性アスリートの現状谷課題について、次の3点を中心にお話いただきました。

## 1)身体・生理的な課題

間違った指導による女性アスリートに見られるエネルギー不足・視床下部性無月経・骨粗鬆症が起ること、選手生命も危ぶまれる事態になる。女性アスリート外来などを受診し、早期発見・早期対処することが大切であり、また、アスリート自身がセルフマネジメントできるような教育も必要である。

## 2)心理・社会的課題

家族の理解や指導者との適切な関係が得られないこと、また、結婚・出産・育児との両立はまだまだ厳しいという現実も看過できない。女性に限ることではないが、現役を引退後のセカンドキャリアを見据え、競技と学業の両立が必要であろう。

## 3)組織・環境的課題

スポーツ界の女性役員の割合を2020年までに40%という世界の目標があるが、日本では平成28年度に10%までしか達していない。周囲や家族の理解が低いことも理由に挙げられる。また、女性指導者の評価が男性よりも低く評価されてしまう現実もある。

野口先生は、「女性指導者がいたら、男性では気づかない部分でコミュニケーション能力を発揮し、子どもがスポーツを長く続ける働きかけができます。指導者としての幅を広げ、競技者がスポーツにかかわることで、将来にわたる人間関係づくりができるようにしていきたいものです。」と語られ、次の5つの目標をもって、女性スポーツにかかわっているとのことでした。

女性の会の代表「廣川恵子さん」は、このような研修の機会を設けることで、最新の情報を提供したり、女性スポーツへの関心を高めたりしたいと考えておられます。この会は、女性指導者に限ってないので、どなたでもお気軽に参加ができます。

台風25号の影響で、10月7日(日)に実施予定の第4回研修会は、12月22日(土)に延期されましたので、この機会にぜひ参加されませんか?

- スポーツを好きでいること
- スポーツにかかわり続けること
- 経験を次世代に伝えること
- 次世代のために環境を整えること
- 困難な状況に対しては、今、自分から変化を起こす

# 総合型地域スポーツクラブ 訪問日記

クラブ名	訪問日	訪問者
<b>鹿野スポーツ振興会</b>	平成 30 年 10 月 13 日 (土)	和田 康夫

設立して 14 年目を迎える「鹿野スポーツ振興会」では、多世代交流 ACP (アクティブ・チャイルド・プログラム) を行いました。幼児からお年寄りまで、約 50 人近い参加者で、自分の体力に応じた運動遊びを通じた交流で、心も軽やかになったようです。



このクラブは、自治会員からの会費で地域のスポーツ活動を展開しています。会長の高光さんは、会長を引き受けたとき、自分のことだけではなく、人のお世話をすることになり、戸惑いも多くあったそうですが、昔からの顔なじみばかりで、アットフォームな鹿野地区の人に助けられたことで、たくさんの喜びを感じられたとのこと。バレーボールや卓球などの大人対象のスポーツに加え、ジュニアスポーツ教室を定期的で開催していることで、元気な地域が育っていると考えておられます。鹿野キッズ ACP は、山口県体育協会の支援で、鹿野スポーツ少年団と鹿野保育園が連携して、幼児期からの運動遊びを展開しています。この活動を多世代に広げようとの試みで、今回の企画になりました。子どもたちの楽しそうな顔をほほえみながら見守る大人の姿がたくさんありました。

これから、子どもから高齢者まで、もっと多くの人に参加し、自分たちでルールをつくって活動できるようなイベントを企画したいと…思いは広がっているようでした。

クラブ名	訪問日	訪問者
<b>名田島コミュニティクラブ</b>	平成 30 年 9 月 24 日 (月・祝)	岡村 睦美

今回は、名田島コミュニティクラブが開催した『カート体験走行会～あなたも風になれる～』へお邪魔しました。場所は、萩市の萩アクティビティパークのナチュラルサーキット場で、今回は、山口市・防府市に配付されているサンデー山口にイベント情報を掲載し、募集を行いました。カートの台数に限りがあるため、すぐに定員となり、親子での参加が多く見られました。参加者からは、「また開催してほしい」「とても楽しかった」との声があり、なかなか体験できない機会に喜んでおられました。



日頃のクラブ活動では、名田島地区民を対象とした教室を実施していますが、今回のように対象を広げたイベントを実施することで、クラブ活動の幅が広がります。新しい教室やイベントをすることは簡単なことではありませんが、クラブの周知・新規会員獲得等にもつながるような新たな取組にも挑戦され、手応えを感じられたようでした。

## ほっとニュース

今年度から、クラブ同士の連携を深め、クラブの活性化を図るために、地域連絡協議会を組織し、スポーツフェスタを開催しています。これから実施されるスポーツフェスタを紹介します。

厚狭地域「薬草ウォーク」平成 30 年 11 月 11 日 (日) 江汐公園

周防地域「陸上教室&ミニトランポリン教室」平成 30 年 11 月 23 日 (金・祝) 下松スポーツ公園

岩国地域「地域スポーツフェスタ 岩国地域研修会」平成 30 年 12 月 16 日 (日) 岩国市美和

柳井地域「講演会 (イベント名未定)」平成 31 年 1 月 27 日 (日)





## 人がつながる 人でつながる 人がつくる

総合型地域スポーツクラブが量より質の転換を求められています。地域に根ざしたクラブの経営や活動を支えるのは人… このコーナーでは、スポーツコンシェルジュがインタビューをして、人を紹介していきます。

### 長門スポーツクラブ 事務局 内山 泰徳氏

今回は、長門市で活動している長門スポーツクラブの事務局をされている内山泰徳氏にお話を伺いました。このクラブは、スポーツを楽しむことを原点に、地域や学校と連携し、より豊かなスポーツライフの実現を目指すことを理念に活動をしています。



#### クラブ設立のきっかけは？

長門市から、総合型地域スポーツクラブの勧めがあり、サッカーとバレーボールの既存クラブを核に広げていきました。現在はその2種目以外に、テニス・ソフトテニス・卓球・フラダンス・総合格闘技の定期教室とトップアスリートによるスポーツ教室をイベントとして実施しています。

#### クラブの特徴は？

長門高校の協力により、学校施設を使用させてもらっており、高校が活動拠点となっています。遊ぶ・楽しむからトップスリート育成まで種目の中で選択でき、高校の教諭がクラブの運営や指導にも携わっています。他クラブではあまり実施されていないフラダンスと総合格闘技を取り入れているのも特徴です。

#### 今後どのようなクラブにしていきたいですか？

施設が限られているため、活動は現状のまま継続していこうと思っています。その中で、イベントの内容等を工夫しながら活動していきたいと考えています。また、他クラブとの連携もさらに深めていきたいと考えており、クラブの周知をしながら、新規のクラブ会員の獲得につなげていきたいと思っています。

長門スポーツクラブは、長門市の総合型クラブを引っ張っており、今年度の県のスポーツカーニバルでも中心クラブとして運営・実施していただきました。

### むぎかわ元気クラブ 会長 真瀬 邦夫 氏

今から10年近く前、「どうして総合型クラブをつくらなくてはいけないのか？」という疑問に、「横の世代では、いろいろなスポーツをしているけれど、世代を超えた縦のつながりをつくれれば、もっとつながりができるはず」と答えた、当時の美祢市の担当者の言葉に触発されて、このクラブを立ち上げた。懐かしそうに語るの、今回訪問させていただいた美祢市にある「むぎかわ元気クラブ」の真瀬会長さんです。



#### むぎかわ元気クラブのよさは？

穏やかで協力的な地域性で、約200人の会員の積極的ななかかわりがあります。この地区には、元気クラブと連携している組織として、「むえんたんの会(旧:母親クラブ)」「老人クラブ」、「麦っ子塾(育友会中心)」があります。特に、小学校の育友会(P T A)との密接な関係は、クラブの後継者を育てることになっています。

#### 真瀬会長さんの夢は？

麦川地域でも、少子高齢化が進んでいます。だからこそ、地域にみんなが集えるような場所がほしいと思っています。クラブハウスのような場所は、小学校の施設を間借りしている状態ですが、地域の住民で運営できるような施設があれば、もっと地域の活性化になるのではと夢見ています。これからも、今の人のつながりをもっともっと大切にしていくことで、夢の実現につながるように思います。

青年時代は、野球で甲子園を目指していたスポーツマン。40年前に、ふるさとに戻り、野球スポーツ少年団の指導者や体育指導員として地域のスポーツのお世話をされた経験を活かし、今日を迎えられています。

### 【生涯スポーツ推進センター問い合わせ先】

<p>中央生涯スポーツ推進センター(山口県体育協会)</p>	<p>TEL 083-933-4697</p> <p>FAX 083-933-4699</p>
--------------------------------	---